

◎古布庄地区公民館平成30年度運営の状況と評価

(1) 運営の状況

項目	状況
年間総利用者数	123 団体 のべ 1,491 人 (公民館使用簿より)
開催事業・講座	計 60 回 のべ 1,920 人参加 (詳細は別紙「平成 30 年度事業実績」のとおり。)

(2) 評価

○評価項目及び評価

項目	評価の観点 (下記が適正にできているか)	特徴的取り組み・反省点など	評価
公民館の 目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> 関係者(職員・役員)の目的・目標理解と意欲的取り組み 	目的・目標を念頭におき、年間を通じて取組んだ。公民館運営協議会委員など役員のなかでも共通理解するよう意見交換した。	B
地域全体で 行う、まな びテーマの 把握・反 映・実践	<ul style="list-style-type: none"> 住民学習ニーズの把握及び事業への反映 地域課題、生活課題、現代的課題の事業への反映 発達課題、家庭教育、奉仕・体験活動に関する学習機会設定 事業への住民参画推進 	地域こども教室のなかのエンジョイ SCHOOL の内容を充実させ、小学校区関係なく誰でも参加できるよう呼びかけを行った。また、地域防災を考える講座を行い、年々増えている自然災害に対し避難のタイミングや、集落での連携体制について考えた。住民からの要望で子育て事業を開催。子育て世代の交流はもちろん、地域の新たな人材の発掘や育成にもつなげていきたい。	B
より自主的 なまなびの スズメと広 がり	<ul style="list-style-type: none"> 自主運営学習グループづくり推進 住民の自主学習支援 学習リーダー、講師育成 学習成果発表機会設定(作品展示など) 関係団体と連携しての事業実施 	自主運営サークルは、高齢化に伴いなくなるグループが増えてきた。古布庄地域振興協議会の教室部会と連携し、新たなサークルづくりは協議会と連携し行う。公民館祭、二人三脚駅伝は年々、集落単位での参加が難しい現状になってきている。内容や実施形態の再検討が必要だが、集落がまとまり地域全体が集まる貴重な機会でもあり、継続できる形を模索したい。	B
まなび情報 提供と職員 研修	<ul style="list-style-type: none"> 講座開催、学習グループの情報提供 図書など資料の提供 職員研修(町教委主催など)への参加と自己研鑽 	公民館だより発行(6回)、ホームページ掲載、音声告知放送など情報提供に努めた。県(3回)・町(5回)・郡公連(3回)主催の研修に参加し、研鑽を続けた。	A
利用者目線 のまなびの 館づくり	<ul style="list-style-type: none"> 館管理、貸館、不在表示の適宜実施 利用者への挨拶励行など、待遇改善 	不在表示を欠かさず行い、館利用が滞らない様に努めた。清掃に努め、「来たときよりも美しく」を合言葉に住居啓発を実施、明るい挨拶と歯切れの良く、かつ優しい対応に心がけた。	A
総括	<ul style="list-style-type: none"> 地域学習拠点として全体総括 次年度に向けての改善点 	おおむね順調に進めることができた。地域の人材の発掘・育成につながる活動を積極的に行っていききたい。幅広い年代に公民館事業にかかわってもらう工夫を考えていく。	合計 17 点 (20 点中)

※評価 A: 適切・十分(4点) B: 概ね適切・概ね十分(3点) C: やや不適切・やや不十分(2点) D: 不適切・不十分(1点)

○平成30年度事業実績

古布庄地区公民館

事業名	内 容	ね ら い	実績(開催日・回数・参加人数等)	
諸会議	公民館運営協議会	公民館の事業計画・運営方針について、地区内学識経験者などで協議する	公民館活動の総括的な改善検討推進	年3回開催・のべ23名出席
	教養体育部長会	教養体育部長で組織。公民館の事業の具体的な取組について協議し、実践していく	事業実施を通じた地域リーダーの育成	年2回開催・のべ20名出席
	実行委員会(合同会)	運動会・公民館まつり・二人三脚駅伝などの公民館事業の具体的な取組について内容等を検討し、実践する。各団体代表(区長・教養体育部・運営協議会委員・女性部長など)	各団体との連携による効果的な事業実施	年6回開催・のべ147名出席
	せいごうキッズ検討会	小学校・公民館でせいごうキッズ内容等について協議・実践する	地域・学校・家庭が一体となった健全育成環境づくり	年7回開催・のべ26名出席
	人権・同和推進教育	地域における人権・同和教育の推進の理解と実践を進める ・評議員会 ・総会 ・小地域懇談会事前研修会	地域住民に正しい認識を広げ差別のない明るい町づくりをめざす	年3回開催・のべ73名出席
女性教室	出張女性教室(各部落女性部)	手芸・料理・健康教室など各部落女性部で内容を検討して学習活動を実施する	女性の地域での継続的活動を促進し、趣味や手芸などの出前講座を企画し、共通の課題について研修を深める	4/28下三本杉・12名 1月11日矢下・7名 2月10日古長・10名 2月10日別宮・19名
成人教室	木のストラップ作りと積み木遊び	木をつかった手作りストラップ作りとだれでも楽しめる積み木あそびの体験(古布庄地域振興協議会主催、古布庄夜市の中で開催)	木に親しみ、触れる機会の提供	8/18・30名
	DIY木工教室	木を使ったプランターづくり	木の温かみや木工の楽しさを体験する	10/27・9名
	古着でリフォーム教室	使わなくなった古着をリフォームしベストや座布団カバーを作成	古着を有効活用しながら、手芸の楽しさを知る	2/4・6名
	春のガーデニング教室	季節の花の寄せ植え	草花を育てる楽しさを知る	3/2・10名
文化教養講座	学校公開見学「聖郷小学校にいてみよう」	学校公開にあわせて、聖郷小学校学校公開に参加	普段知らない地域の子ども達の様子や、学校での生活習慣を知る	6/12・11名
	視察研修会	鳥取県が津博物館、砂の美術館、あおや和紙工房の見学と体験活動	文化財や現代美術の鑑賞をすることにより芸術に関する学習を深める	6/24・32名
	防災から学ぶ地域力UP講座	地域の防災対策を考える講座	災害時の対応の仕方を地域全体で考え、共有する	7/21・16名
	らくらく運転講座	普段の生活に欠かせない車に長い期間安全に乗るためのストレッチ体操とサポカーの試乗体験	車を長く運転できるために自分の体を知り正しい運転姿勢を学ぶ。また車の機能を知り、より安全に心がけるきっかけとする	10/20・11名

高齢者教室	高齢者グラウンドゴルフ大会	地区内の高齢者が集まり、グラウンドゴルフを楽しむ	高齢者同士の交流を図り、住みよい地域づくりを推進する	6/2・38名 10/25・24名
子育て支援事業	おやこのたのしいじかん	読み聞かせとふれあひあそび	子育て世代の交流を通し、地域で子育てを援助する仕組みとあらたな地域人材の育成をめざす。	12/20・7組14名
		ベビーマッサージ		3/7・8組16名
地域子ども教室	せいごうキッズ	夏休みどきどき☆わくわく見学会	地域・学校・家庭が一体となった健全育成環境づくり (下郷・上郷・古布庄共催)	8/6・37名
		おいしいパンを作ってみよう		1/12・16名
	エンジョイSCHOOL	親子deかんたんパンづくり	地域での居場所づくりの支援や子どもの健全育成に努める	6/2・22名
		竹で工作昆虫づくり		8/4・20名
		植菌体験～しいたげができるまで～		12/15・21名
そば粉でつくるおいしいスイーツ	2/23・10名			
社会体育事業	地区グラウンドゴルフ大会	スポーツを通じて住民相互の親睦を深める。健康、体力の増進を図る。	いつでもどこでも、だれにでも出来るスポーツ・レクリエーションを広く普及し機運を醸成する	雨のため中止
	ソフトバレーボール大会			6/17・約130名
	町民運動会			台風のため中止
	卓球大会			2/3・約150名
地域活性化事業	春の里山山菜食堂	山菜を使った昼食会 (古布庄地域振興協議会協力事業)	地域の魅力を発信すると共に、住民同士の親睦・交流を図り、活力ある地域づくりを目指す	4/21・50名
	古布庄まつり2018	住民作品展、出店、かくし芸大会		11/10・11/11 約400名
	琴浦町巨木の郷 二人三脚・三人四脚 駅伝大会	一人走、二人三脚、三人四脚でタスキをつなぐ駅伝大会		11/11・約350名
人権・同和推進教育	地区人権・同和教育推進研究協議会	人権・同和教育部落懇談会 障がいのある人も暮らしやすいまちづくり	一人ひとりが尊重され、心豊かにつながりあうまちづくりをめざす	11集落
自主学習活動支援	自主運営教室活動支援	自主運営学習グループ・団体に対して、大会・発表機会・各種助成金などの情報提供などの活動支援を行った。 ・いけばな ・俳句の会「せせらぎ」 ・パッチワーク ・リフォームの会	住民の自主的な学習活動支援	通年